

農学委員会 農業経済学分科会（第21期・第5回）議事要旨

日 時：平成22年2月20日（土）14:00～16:00

場 所：東京大学農学部3号館1階 研究科長室

出席者：生源寺委員長・新山副委員長・鈴木委員・立川委員・飯國委員・小田切委員；以上6名

欠席者：千葉委員；以上1名

議 事：

1. 第4回の議事要旨（案）の了承

原案通り議事要旨が承認された。

2. 提言「農業・食料・環境をめぐる北東アジアの経済連携強化に向けて」の検討

(1) 提言内容の検討

新山委員，小田切委員，飯國委員が提出した提言案に対して，質疑が行われ，以下のことが確認された。

- ◆ 提言の構成の改訂：食の安全性や消費に関連する章を前に置き，農業に関する章をまとめて，後に置く方が好ましい。
- ◆ 北東アジアの経済発展における「開発主義」や「圧縮型」といった特徴は，「はじめに」においてまとめて論じる形にすべきである。
- ◆ 経済学の理論だけになってしまうと，経済学の論理に飲み込まれる可能性もあるので，コモンズなどの共同性や社会構造を意識した切り口から提言をまとめる必要がある。
- ◆ 自給のコンセンサスをいかに得るかが，最終的な論点となると予想される。必需の水準の確保といった議論を深めるべきであろう。
- ◆ 最後の提言部分については，構成内容について再検討が必要とされる。

3. 次回の分科会開催の予定について

日時：2010年3月27日（土）12:30～

場所：京都大学

議題：提言「農業・食料・環境をめぐる北東アジアの経済連携強化に向けて」の検討

第5回の議論を受けて、提出された原稿を収集し、再構成した原稿を以下のところにアップロードしている。今回はこの原稿をもとに提言の方向性を決定する。

4. 本年の活動計画

(1) 第7回分科会の開催（東京）5月22日（土）ないしは23日（日）

中国の食品安全性に関する研究会を開催する。現地に詳しい研究者を招聘する。

(2) 第8回分科会の開催（東京）

10月頃を目処に、陳教授（中国農業大学）を招待し、中国の食料需給についての研究会を開催する。